

小学校

s 1-10

色板ならべ

1 学年

【ねらい】

身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。

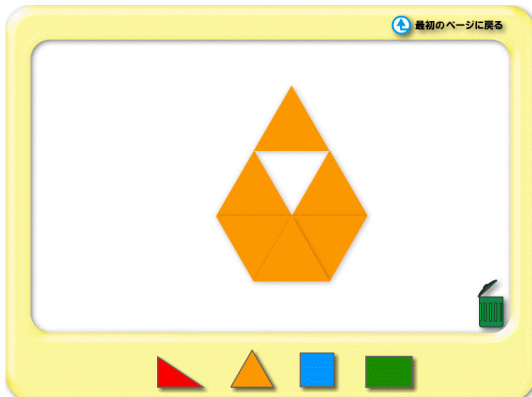
【特徴】

◇ 「いろいろた ならべ」では、シルエットの状態と、「こたえ」のとき、色板の部分をクリックすると、1枚ずつ数を確かめることができます。

【関連する単元】

◇ 小学2年「三角形や四角形などの図形」

【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証

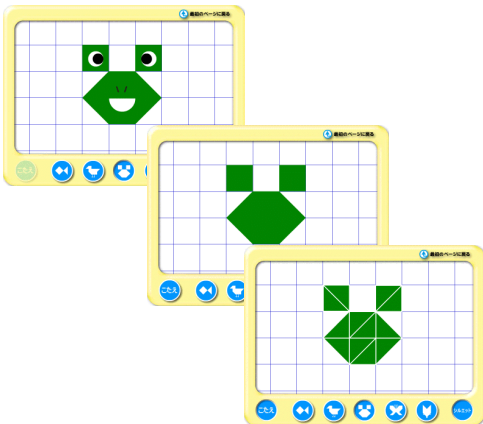


今後の図形学習の素地的な体験活動に向けた提示に活用できます

4つの図形を自由に選択し、向きを変えて組み合わせることができるので、学級の興味・関心に合わせた提示用の色板を並べることができます。また、状況に応じて並べ方を変えることもできます。

- ◇ あらかじめ並べた形のイメージを指導者は作っておき、子どもたちに何の形になるかを想像させながら提示していきます。
- ◇ あらかじめ用意しておいた色板(1~4種類程度を複数枚)を配り、完成品に名前を付ける活動を行います。

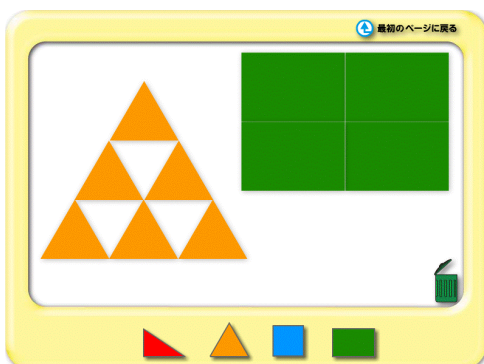
※このとき、動物をイメージした児童は、ひげや目などをつけながら、楽しく活動を行うことも、大切なポイントです。



図形についての観察力・推察力を育みます

提示した絵を段階的に分解する様子を提示することができるため、作成過程を想像しながら図形の構成に注目させながら学習を展開することができます。

- ◇ 提示された絵は、△の形でどのように構成されているかを見通します。
- ◇ 模様など、解決するにあたって必要のない要素を取り除き、引き続き考えさせます。
- ◇ 「こたえ」を提示し、三角形の向きを変えるなどしてできたかたちであることを確認します。(色板をクリックすると、枚数を数えることもできます。)



今後の図形学習のための素地的な体験を視覚的に行います

同じシート上で複数の種類の形を敷き詰めることができるため、“さんかくのかたち”と“しかくのかたち”は敷き詰められることを感覚的に捉えさせることができます。

- ◇ しきつめの算数的活動の後、複数の図形を敷き詰める様子を提示します。